

- 問1 20世紀初頭のアジアにおける民族運動や国家の成立について述べた文として、中華民国の建国の経緯を正しく説明しているものはどれですか。
(2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. ガンディーが指導する非暴力・不服従の抵抗運動の影響を受け、イギリスからの独立と同時に共和国となった。 | 2. 朝鮮半島において日本の植民地支配に反対する三・一独立運動が起こり、その直後に共和国として成立した。 | 3. 第一次世界大戦後にドイツで制定されたワイマール憲法の理念に基づき、社会権を重視する国家として成立した。 | 4. 孫文が指導した辛亥革命によって清が倒され、皇帝政治を廃止してアジア初の共和国が誕生した。 |
|---|--|--|---|
- 問2 日露戦争後、軍事上の要請や産業発展のための輸送能力強化を目的として政府が制定し、主要な私鉄を買い取って国の管理下に統合した法律を何といいますか。
(2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|-----------|
| 1. 鉄道国有法 | 2. 工場法 | 3. 治安維持法 | 4. 国家総動員法 |
|----------|--------|----------|-----------|
- 問3 大日本帝国憲法の統治の仕組みにおいて、行政を担う機関である内閣と、主権者である天皇、および帝国議会との関係について説明した文として、最も適切なものを選んでください。
(2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 内閣の各国务大臣は、天皇を助ける「輔弼（ほひつ）」の役割を担い、天皇に対して個別に責任を負った。 | 2. 内閣は衆議院に対してのみ責任を負い、衆議院で不信任案が可決された場合は必ず総辞職しなければならなかった。 | 3. 内閣は立法権も併せ持っており、帝国議会の承認を得ることなく法律を自由に制定することができた。 | 4. 内閣総理大臣は、帝国議会の指名に基づいて天皇が任命する議院内閣制が憲法で明記されていた。 |
|---|---|---|---|
- 問4 1885年に創設された内閣制度の初代内閣総理大臣に関する説明として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|---|
| 1. 日本初の本格的な政党内閣を組織し、「平民宰相」として国民から広く支持された。 | 2. 自由民権運動を指導し、自由党の結成を主導して国会の早期開設を求めた。 | 3. 学制や徴兵令、地租改正といった明治初期の三大改革を主導したが、内閣制度創設前に暗殺された。 | 4. ドイツ（プロイセン）の憲法などを調査し、大日本帝国憲法の起草において中心的な役割を果たした。 |
|---|---------------------------------------|--|---|
- 問5 20世紀初頭のアジア情勢において、1911年に清で発生した辛亥革命の背景と意義について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日清戦争での敗北を受け、清の政府自らが近代化を目指して立憲君主制への移行を完了させた。 | 2. 三民主義を掲げる孫文らの指導により、長年続いた皇帝政治を終わらせ、共和制の新国家を樹立した。 | 3. 日本の二十一条の要求に対する反対運動として発生し、学生や労働者が中心となって列強の排除を訴えた。 | 4. 軍閥による国内の混乱を鎮めるため、中国国民党と中国共産党が協力して北伐を開始するきっかけとなった。 |
|--|---|---|--|
- 問6 1890年代の日本の貿易統計において、1897年頃に輸出量が輸入量を追い抜き、その後も生産量が急上昇した製品として正しいものはどれですか。
(2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 綿糸 | 2. 自動車 | 3. 鉄鋼 | 4. 生糸 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問7 1870年代、明治政府はロシアとの国境を確定させるためにある条約を締結しました。北海道の北に位置する樺太（サハリン）と、その北東に連なる千島列島の帰属について定めたこの条約の内容として、正しいものはどれですか。
(2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 1. 樺太を日本領、千島列島をロシア領とした。 | 2. 樺太をロシア領、千島列島を日本領とした。 | 3. 樺太の南半分を日本領、北半分をロシア領とした。 | 4. 樺太と千島列島のすべてを、日本とロシアの共同管理地とした。 |
|-------------------------|-------------------------|----------------------------|----------------------------------|
- 問8 1900年頃から1912年にかけての、日本の国際的地位が向上した時期の外交的背景について説明した文として、適切なものはどれですか。
(2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. ノルマントン号事件をきっかけに、民衆の間で不平等条約への不満が高まり、陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した | 2. 岩倉具視を全権大使とする使節団を欧州に派遣したが、当時の日本の近代化が不十分であったため交渉には失敗した | 3. 日清戦争後の下関条約によって、台湾や澎湖諸島を領有することになり、植民地支配を本格化させた | 4. ロシアの南下政策に対抗するためイギリスと日英同盟を結び、その後の日露戦争の勝利が条約改正を後押しした |
|--|---|--|---|
- 問9 明治初期の外交政策において、1875年にロシアとの間で「樺太・千島交換条約」が締結された主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。
(2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日朝修好条約の締結に際し、ロシアからの軍事的な支援を取り付けるための外交的な譲歩として | 2. 三国干渉によって遼東半島を清に返還した代償として、北方領土の権利を確定させるため | 3. 岩倉使節団の派遣による欧米視察の結果、ロシアの制度を導入する条件として領土を整理するため | 4. ロシアとの領土紛争を回避し、国内の体制整備や不平等条約の改正交渉に専念するため |
|--|---|---|--|
- 問10 明治政府にとって長年の課題であった不平等条約の改正について、日清戦争が始まる直前の1894年に、当時の外務大臣である陸奥宗光がイギリスとの間で日英通商航海条約を調印したことで実現した内容として、最も適切なものを選びなさい。
(2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本国内で犯罪を犯した外国人を、日本の法律に基づいて日本の裁判所で裁くことを可能にする領事裁判権の撤廃 | 2. 輸入品に対して日本側が自由に税率を決めることができる権利である、関税自主権の完全な回復 | 3. 下関条約によって得た遼東半島を、ロシア・ドイツ・フランスの勧告を受け入れて清に返還すること | 4. 欧米諸国に対して、キリスト教の布教の自由を認め、国内各地の開港場以外での居住を許可すること |
|--|--|--|--|
- 問11 作家の樋口一葉が誕生した年である1872年に公布された「学制」をめぐる当時の社会状況について、正しい説明はどれですか。
(2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 国民皆学理念を掲げたが、学校の建設費や授業料が民衆の負担であったため、各地で反対一揆が起こった。 | 2. 江戸時代の寺子屋での教育内容をそのまま引き継いだため、農村部では混乱なく受け入れられた。 | 3. 政府による手厚い財政支援により、公布から1年足らずで全国のが就学率は90%を超え、順調に普及した。 | 4. 徴兵令と同時に実施されたことで、軍事教育を主目的とする小学校が全国各地に優先して建設された。 |
|---|---|--|---|
- 問12 明治時代初期において、『学問のすゝめ』などを通じて人々の自立や個人の尊重、実学的重要性が強調された理由として最も適当な説明はどれですか。
(2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|--|--|
| 1. 江戸時代の封建的な身分意識から脱却し、個人の自立を通じて近代国家の形成を目指したため | 2. 天皇の政治的権限を制限し、議会主導の政治体制を直ちに確立するため | 3. 自由民権運動のなかで、民衆独自の私憲法草案を作成して政府に対抗するため | 4. 大正デモクラシーの風潮のなかで、民衆による政党政治の実現を目指したため |
|---|-------------------------------------|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 孫文が指導した辛亥革命によって清が倒され、皇帝政治を廃止してアジア初の共和国が誕生した。	中華民国の成立は、孫文による辛亥革命が直接の背景となっています。当時、アジア諸国が欧米列強や日本の圧力にさらされる中で、皇帝による専制政治を終わらせて近代的な共和国を目指した出来事でした。選択肢にある三・一独立運動は朝鮮、非暴力・不服従はインド、ワイマール憲法はドイツに関連する事象であり、中華民国の建国とは異なります。
問2	答え 1 鉄道国有法	日露戦争後の1906年に制定された法律により、主要な私有鉄道が政府に買い取られ、国の管理する官営鉄道へ統合されました。
問3	答え 1 内閣の各国务大臣は、天皇を助ける「輔弼（ほひつ）」の役割を担い、天皇に対して個別に責任を負った。	大日本帝国憲法では、行政権は天皇に属しており、内閣（各大臣）は天皇の権限行使を助ける「輔弼」という立場でした。現代の議院内閣制とは異なり、内閣は議会ではなく天皇に対して責任を負う仕組みであったため、議会の多数派が必ずしも政権を担当するわけではありませんでした。この仕組みは、後に政党政治が衰退する要因の一つにもなりました。
問4	答え 4 ドイツ（プロイセン）の憲法などを調査し、大日本帝国憲法の起草において中心的な役割を果たした。	初代内閣総理大臣に就任した伊藤博文は、憲法制定の準備のためにヨーロッパへ渡り、君権の強いドイツ（プロイセン）の憲法を調査しました。帰国後、内閣制度の確立とともに憲法起草の中心となり、1889年の大日本帝国憲法発布に大きく貢献しました。自由党を組織したのは板垣退助、明治初期の改革を主導したのは大久保利通、平民宰相と呼ばれたのは大正時代の原敬です。
問5	答え 2 三民主義を掲げる孫文らの指導により、長年続いた皇帝政治を終わらせ、共和制の新国家を樹立した。	辛亥革命は、清朝の衰退と列強による中国分割が進むなか、自立した近代国家を目指して行われた革命です。この革命によって2000年以上続いていた中国の君主制に終止符が打たれ、共和制の中華民国が誕生しました。なお、五四運動（1919年）や国共合作（1924年～）などは、この革命よりも後に起こった出来事です。
問6	答え 1 綿糸	1890年代後半の日本で輸出超過へと転じた代表的な製品は綿糸です。同じく主要な輸出製品であった生糸と混同されやすいですが、原料を輸入して機械で加工する紡績業（綿糸）の発展が、この時期の日本の産業革命を牽引しました。大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど紡績業が盛んになり、綿糸の国内生産量が急増しました。
問7	答え 2 樺太をロシア領、千島列島を日本領とした。	明治政府は、国内の近代化や土族授産の対応を優先するため、ロシアとの不要な衝突を避ける必要がありました。1875年に締結された樺太・千島交換条約では、それまで日露の混住地として境界が曖昧だった樺太の領有権をすべてロシアに認める代わりに、千島列島の全域を日本領とすることで、北方の国境を明確に画定しました。日露戦争後のポーツマス条約で樺太の南半分を獲得する状況とは、時代背景や内容が異なる点に注意が必要です。
問8	答え 4 ロシアの南下政策に対抗するためイギリスと日英同盟を結び、その後の日露戦争の勝利が条約改正を後押しした	1900年代初頭、日本は東アジアにおけるロシアの進出を警戒するイギリスとの利害が一致し、1902年に日英同盟を締結しました。この同盟を背景に日露戦争を戦い、ポーツマス条約で講和したことが、その後の関税自主権の回復（1911年）といった条約改正の完成に大きく寄与しました。陸奥宗光による領事裁判権の撤廃はこれより前の1894年（日清戦争直前）の出来事です。
問9	答え 4 ロシアとの領土紛争を回避し、国内の体制整備や不平等条約の改正交渉に専念するため	明治政府は発足直後から、近隣諸国との国境を確定させる外交を進めました。当時の日本は軍事力が十分ではなく、強大なロシアと樺太で衝突することは避けるべき課題でした。そこで、樺太の権利を放棄してロシア領と認める代わりに、千島列島をすべて日本領とすることで、北方での紛争の火種を取り除こうとしました。これにより、政府は国家の近代化や欧米諸国との条約改正に向けた外交に力を注ぐことができるようになりました。
問10	答え 1 日本国内で犯罪を犯した外国人を、日本の法律に基づいて日本の裁判所で裁くことを可能にする領事裁判権の撤廃	幕末に結ばれた不平等条約のうち、日本の主権を侵害していた大きな要素の一つが領事裁判権（治外法権）でした。1894年、陸奥宗光外相は、日本の近代化が進み、法典の整備が整ったことを背景にイギリスとの交渉を成功させ、領事裁判権を撤廃することに成功しました。これは、当時の外交における大きな転換点となり、日本の国際的な地位を向上させました。
問11	答え 1 国民皆学理念を掲げたが、学校の建設費や授業料が民衆の負担であったため、各地で反対一揆が起こった。	学制は近代国家への大きな一歩でしたが、当時の政府には十分な予算がなく、学校の建設費用や運営費、さらに授業料の多くが住民の負担とされました。生活に苦しむ農民たちにとって、子供を働き手として奪われることへの抵抗感もあり、各地で学校を破壊するなどの「学制反対一揆」が発生しました。就学率が男子で90%を超えるようになるのは、日露戦争後の明治時代後期になってからのことです。
問12	答え 1 江戸時代の封建的な身分意識から脱却し、個人の自立を通じて近代国家の形成を目指したため	明治初期の文明開化の時期には、旧来の身分制度や古い習慣にとらわれず、欧米の近代的な思想を取り入れて個人の独立心を養うことが、国全体の近代化に不可欠と考えられました。そのため、現実の生活に役立つ実学や自由・権利の思想が重視されました。